

医学系研究科 保健学専攻

学位プログラム： ナースプラクティショナー教育

授与する学位： 修士（看護学/保健学）

教育目標

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻の教育目標のもと、「ナースプラクティショナー教育プログラム」では、看護学を基盤としてキュアとケアを統合したプロトコルの作成やケアプランを立て実施するための知識や技術を身につけ、プライマリケア領域の多様な医療ニーズに柔軟に対応できる高度実践看護師を育成します。併せて、多様な医療ニーズの分析や方略、高度看護実践の成果などを検証しうる研究能力を身につけた高度実践看護師を育成します。

さらに、ナースプラクティショナーとして、保健・医療・福祉に関する深い学識と教養をもち、高い倫理観と豊かな人間性を備え、医療の地域発展、国際展開を推進できる人材の育成を目指しています。

本プログラムは、日本看護系大学協議会及び日本 NP 教育大学院協議会の認定した高度実践看護師教育課程であり、以下の教育目標の項目を挙げています。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

・ナースプラクティショナーとして必要不可欠なフィジカルイグザミネーションスキルと臨床推論を講義、演習、実習を組み合わせることで修得を図ります。さらに、看護学を基盤として患者及び家族の様々なニーズや課題に対応したキュアとケアを統合した実践が可能となるようプレゼンテーション、OSCE、臨地実習などで、学修した知識や技術をアウトプットする機会を設け、主体的な学修をもとにした知識の内在化と深化を体験することで、高度な専門的知識と技術の修得を促します。

○高度な教養

・看護学を基盤として患者及び家族の様々なニーズや課題に対応した高度な看護実践は、人間を充分に知り、健康と社会の関係を理解し、対人コミュニケーションを適切にとるための教養が基盤となります。そのために、人間、健康、環境といった基本概念や社会システム、倫理に関する理解を深め、さらに看護実践や研究を通して、病をもちつつ生活する人、家族、社会生活、自然環境、などを複眼的、俯瞰的、多様な視点で考えることで、自身の基盤となる教養を高める学修を促します。

○高度な国際性

・ナースプラクティショナーとして高度な看護実践を提供するために cultural competency についての理解を深め、その能力を高めます。

・国内外の医療、ナースプラクティショナーの実践の現状を理解し、保健医療の課題解決の方策をグローバルな視点で検討できる能力を高めます。

・自身の関心領域について国際的な研究や実践の動向を理解し、国内外の関係者とのネットワークを形成する能力を高めます。

○高度なデザイン力

- ・多様なニーズや課題に対応するために、ナースプラクティショナーとして保健・医療・福祉分野及び地域で活躍する職種や住民と協働しながら課題の解決ができる能力を養います。
- ・ナースプラクティショナーとしての実践力と研究力を培う中で、人々の理想の実現や新しい医療の創造を目指し、研究、看護実践を豊かにデザインできる能力を養います。
- ・自身の関心領域において、国内外の研究・実践の場で、他分野の専門家とも協働し、新規性・独自性のある研究課題に向き合い、時代のニーズに応じた研究遂行能力を身につけた人材を育成します。

○独自の教育目標

- ・プログラムを修了することで、日本看護系大学協議会のナースプラクティショナー（プライマリケア領域）の受験資格を得ることができ、また条件を満たすことで、日本 NP 教育大学院協議会 NP 資格認定試験の受験資格を得ることができます。ナースプラクティショナーとして、現にまたは潜在的に健康問題を有する患者に看護学を基盤としてキュアとケアを統合したプロトコールの作成やケアプランを立て実施するための知識や技術を身につけ、一定の範囲で自律的に健康上の問題の診断と治療的もしくは予防的介入を行い、卓越した直接ケアを提供できる人材を育成します。
- ・看護師特定行為研修の区分「栄養及び水分に係る薬剤投与関連」の修得を含んでいます。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻のディプロマ・ポリシーのもと、「ナースプラクティショナー教育プログラム」では、看護学を基盤としてキュアとケアを統合したプロトコールの作成やケアプランを立て実施するための知識や技術を身につけ、ナースプラクティショナーとして、多様な医療ニーズに柔軟に対応できる実践力と高い研究力を育成するために、以下の目標を達成した学生に修士（看護学/保健学）を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・ナースプラクティショナーとして必要不可欠なフィジカルイグザミネーションスキルと臨床推論を修得している
- ・患者及び家族の様々なニーズや課題に対応できるよう看護学を基盤としてキュアとケアを統合したプロトコールの作成やケアプランを立て実施するための知識や技術を修得している

○高度な教養

- ・ナースプラクティショナーにふさわしい高い倫理観を持ち、豊かな人間性を身につけている
- ・看護実践や研究を通して日々自己研鑽を行う中で、健康と社会の関係を複眼的・俯瞰的に思考し、人類の文化・社会・自然に関連づけて他者に説明できる

○高度な国際性

- ・cultural competency を高め、ナースプラクティショナーとして、異なる言語・文化背景を考慮した、保健医療のあり方について検討し実践につなげることができる
- ・自身の関心領域について国際的な研究や実践の動向、自身の研究を社会に説明できる

○高度なデザイン力

- ・ナースプラクティショナーとしての実践力と研究力を培う中で、人々の理想の実現や新しい医療の創造を目指し、研究、看護実践を豊かにデザインできる
- ・学問の府たる大学としての自主性、独創性がある研究を遂行でき、研究の視点として理論と実践の両面を身につけている

○独自の学習目標

- ・ナースプラクティショナーとして、一定の範囲で自律的に健康上の問題の診断と治療的もしくは予防的介入を行い、卓越した直接ケアを提供できるよう、現にまたは潜在的に健康問題を有する患者に看護学を基盤としてキュアとケアを統合し、プロトコールの作成やケアプランを立て実施するための知識や技術を修得している
- ・看護師特定行為研修の区分「栄養及び水分に係る薬剤投与関連」についての知識と技術を修得している

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻のカリキュラム・ポリシーのもと、「ナースプラクティショナー教育プログラム」では、以下のとおりカリキュラム・ポリシーを定めています。看護学を基盤としてキュアとケアを統合したプロトコールの作成やケアプランを立て実施するための知識や技術を身につけ、プライマリケア領域の多様な医療ニーズに柔軟に対応できる実践力と高い研究力を育む教育プログラムとなっています。

＜教育課程編成の考え方＞

看護学を基盤としてキュアとケアを統合したプロトコールの作成やケアプランを立て実施するために、必要な講義、演習、実習を組み合わせることで専門的な知識・技術の修得を図ります。

この専門的な知識・技術の修得との両輪で、豊かな教養教育を展開することで、高い倫理観や健康と社会の関係を複眼的・俯瞰的に思考し理解を深められる編成となっています。

また、国内外のナースプラクティショナーの活動や研究動向について学習する科目を入学当初に位置付けることで、国際的な視野で研究と実践の両方のつながりを意識しながら、研究力を高めることができます。

＜学修内容及び学修方法＞

本課程に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、指導教員から論文指導を受け修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格すれば修了し、学位を授与します。

ナースプラクティショナー専門科目には、高度教養教育科目と高度国際性涵養教育科目や、演習科目、実習科目も含まれます。

＜学修成果の評価方法＞

学修の成果は、授業内でのプレゼンテーション、レポート、知識確認テスト及び実技テストによって、シラバスに記載された学習目標への到達度をもとに評価します。また、演習・実習科目や論文作成に関しても同様に、学習目標の到達度によって評価します。

講義や実習においては、高度な専門性や教養が身につけているかのみならず、ナースプラクティショナーとして医療に貢献する上での姿勢や態度についても評価します。

医学系（保健学専攻）ナースプラクティショナー教育プログラム カリキュラムマップ

学習目標	4つの学習目標				独自の 教育科目	1年				2年				
	専門性 と深い学 識	最先端 かつ高度 な学識	高度な 教養	高度な 国際性		高度な デザイン 力								
							春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期
最先端かつ高度な専門性と深い学識 ○ナースプラクティショナーとして必要不可欠なフィジカルイグザミネーションスキルと臨床推論を習得している	○					高度実践看護師共通科目A/B： 看護研究論、コンサルテーション論、看護理論、看護倫理 臨床薬理学、ヘルスアセスメント論、臨床病態生理学総論				高度実践看護学実習Ⅰ～Ⅴ				
○患者及び家族の様々なニーズや課題に対応できるよう看護学を基盤としてキュアとケアを統合したプロトコルの作成やケアプランを立て実施するための知識や技術を習得している	○													
高度な教養 ○ナースプラクティショナーにふさわしい高い倫理観を持ち、豊かな人間性を身につけている		○												
○看護実践や研究を通して日々自己研鑽を行う中で、健康と社会の関係を複眼的・俯瞰的に思考し、人類の文化・社会・自然に関連づけて他者に説明で		○												
独自の学習目標 ○ナースプラクティショナーとして、一定の範囲で自律的に健康上の問題の診断と治療的もしくは予防的介入を行い、卓越した直接ケアを提供できるよう、現にまたは潜在的に健康問題を有する患者に看護学を基盤としてキュアとケアを統合し、プロトコルの作成やケアプランを立て実施するための知識や技術を習得している	○				○	ナースプラクティショナー専門科目： 高度専門看護職教育とヘルスケアサービス(高度国際性涵養教育科目)、 医療の質保証と安全管理(高度教養教育科目)、 ヘルスプロモーション総論、予防対策病態論、救急医療特論、 老年・総合診療特論、 小児・家族看護学総論、高度実践看護学特論Ⅰ～Ⅲ、								
○看護師特定行為研修の区分「栄養及び水分に係る薬剤投与関連」についての知識と技術を習得している	○				○									
高度な国際性 ○cultural competenceを高め、ナースプラクティショナーとして、異なる言語・文化背景を考慮した、保健医療のあり方について検討し実践につなげることができる			○											
○自身の関心領域について国際的な研究や実践の動向、自身の研究を社会に説明できる			○											
高度なデザイン力 ○ナースプラクティショナーとしての実践力と研究力を培う中で、人々の理想の実現や新しい医療の創造を目指し、研究、看護実践を豊かにデザインできる					○									
○学問の府たる大学としての自主性、独創性がある研究を遂行でき、研究の視点として理論と実証の両面を身につけている					○	実験・実習				特別研究				